

## 16. 多様な担い手の参入による繁殖生産基盤強化の取り組み

北部振興局生産流通部 畜産班

○照山友実子

### 1. はじめに

北部管内の H27 年における繁殖牛飼養農家数は 85 戸、子取り雌牛は 1177 頭であり、高齢化や担い手不足から減少傾向にある。その一方で、多様な担い手が参入する動きがあり、弱体化が進む繁殖生産基盤の強化に向けた現地の取り組み事例を紹介する。

### 2. 新規参入者の概要

中津市では、県外から移住してきた K 氏と新たに放牧に取り組む H 茶園が経営を開始。宇佐市では、大規模水田経営の複合化を目的に N 氏が経営を開始し、豊後高田市でも同様の目的で O 氏が開始に向け準備中。また豊後高田市では、県外から移住してきた S 氏が放牧経営を開始し、同じく県外移住者の K 氏が放牧経営開始に向け研修中。

さらに、(有)富貴茶園の放牧に共感した地元の M 氏も経営開始に向けて準備中。

中津市 K 氏 (30) 新規就農	第三者経営継承を志して広島県から移住したが破談となり、28 年 4 月に遊休畜舎を借り入れて就農。現在 17 頭、目標 30 頭
中津市(有)H 茶園 部門開始	荒廃園の放牧管理を目的に 27 年 4 月からレンタカウの利用を始め、27 年 7 月に部門経営開始。現在 1 頭、目標 5 頭
宇佐市 N 氏 (31) 部門開始	水田経営副産物の活用と複合強化を目的に、28 年 9 月に部門経営開始。今年度末見込み 10 頭、目標 30 頭
豊後高田市 O 氏 (41) 部門開始	目的は N 氏と同じで、28 年 12 月に部門経営開始予定。今年度 50 頭規模牛舎を建設し、年度末見込み 25 頭、最終目標 100 頭
豊後高田市 S 氏 (45) 新規就農	(有)富貴茶園の取り組みをテレビで見て放牧経営に魅了され、沖縄県から移住。(有)富貴茶園で研修を積んだ後、28 年 9 月に就農。現在 2 頭、目標 20 頭
豊後高田市 K 氏 (36) 新規就農	S 氏と同様の経過をたどって東京都から移住し、28 年 9 月から(有)富貴茶園で研修中で、30 年 4 月に就農予定。目標 20 頭
豊後高田市 M 氏 (48) 部門開始	大規模菌床椎茸経営。(有)富貴茶園の取り組みに共感し、29 年 3 月に部門経営開始予定。目標 10 頭

### 3. まとめ

繁殖経営への参入動機は「遊休農地の活用」、「放牧経営の魅力」、「周年を通して収入を得る」など様々である。普及員は参入者ごとの多様な事情に応じて、事例紹介や経営試算による意志決定の後押し、土地や資金確保の調整、放牧資材の貸出し、豊後高田市が運営する放牧学校の支援といった開始準備、定期巡回や経営指導といった開始後のフォローなど様々な支援を行っている。

こうした取り組みを通じて参入者を成功へと導き、新たな次の潜在的担い手へと波及させ、参入の輪を拡大することで増頭を図り、繁殖生産基盤の強化を目指している。